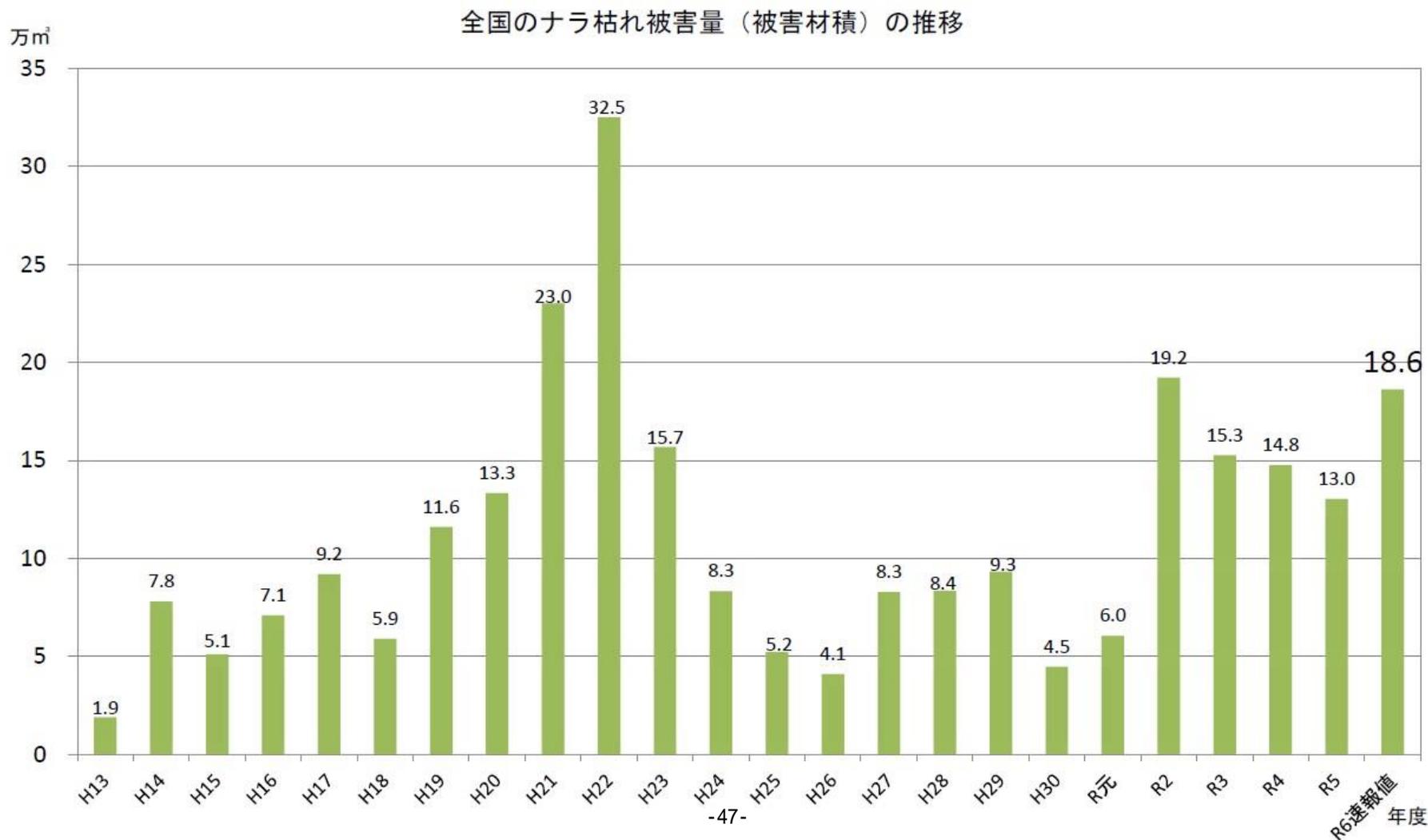


10 その他森林病害虫について

○全国のカシノナガキクイムシ被害（H13～R6速報値）



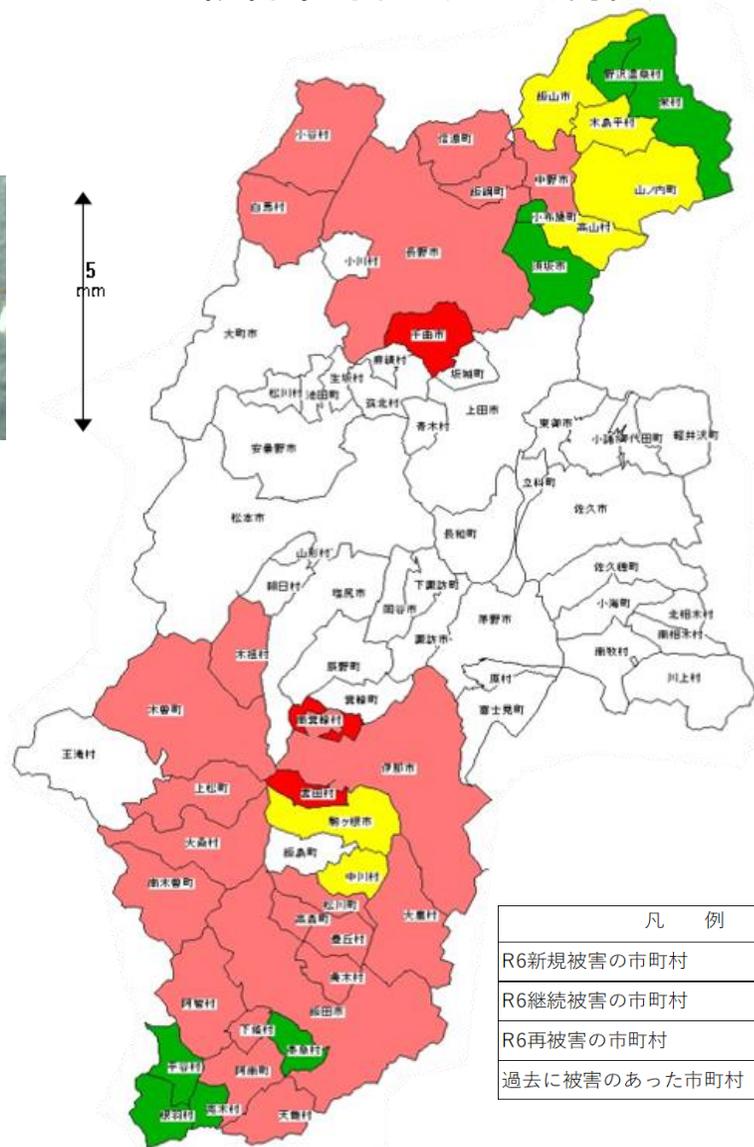
10 その他森林病害虫について

○カシノナガキクイムシ被害市町村 (R6. 10現在)



(メス) (オス)
カシノナガキクイムシ

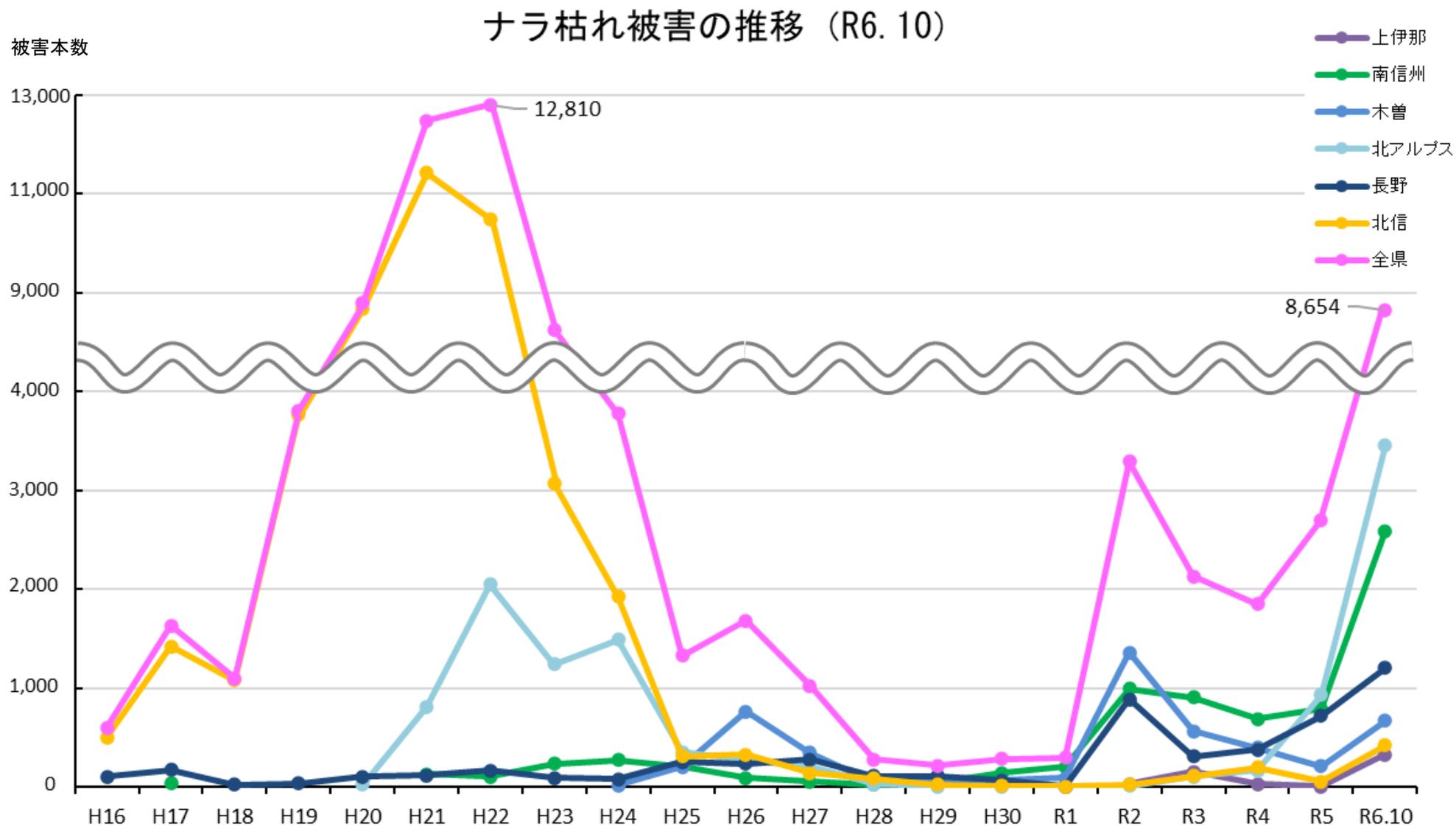
5 mm



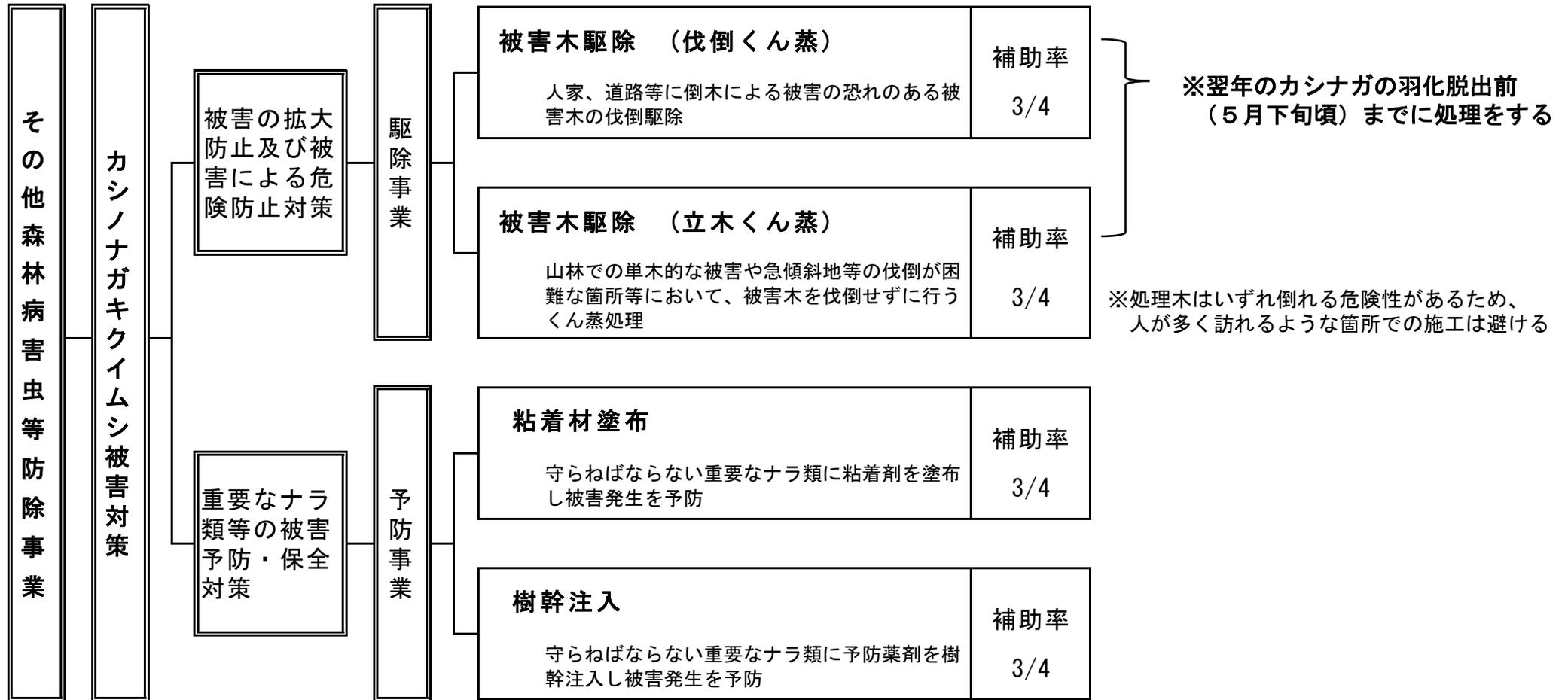
凡 例	
R6新規被害の市町村	
R6継続被害の市町村	
R6再被害の市町村	
過去に被害のあった市町村	

- ・平成16年度から長野・北信地域主体に被害が発生、平成22年の12,810本をピークに減少傾向であったが、令和2年度に再び増加。その後減少へ転じていたが、令和6年度は被害増加（前年比3.2倍、8,654本）。
- ・松くい虫被害と異なり、被害は発生から5～6年で一旦終息する傾向がみられる。
- ・ライフライン等に被害を及ぼすことが危惧される被害木を優先的に処理

10 その他森林病害虫について



10 その他森林病害虫について



ナラ枯れ被害現状等について

1 令和6年度（12月）までの被害の発生状況について

① 北アルプス地域のナラ枯れ被害概況（白馬村、小谷村）

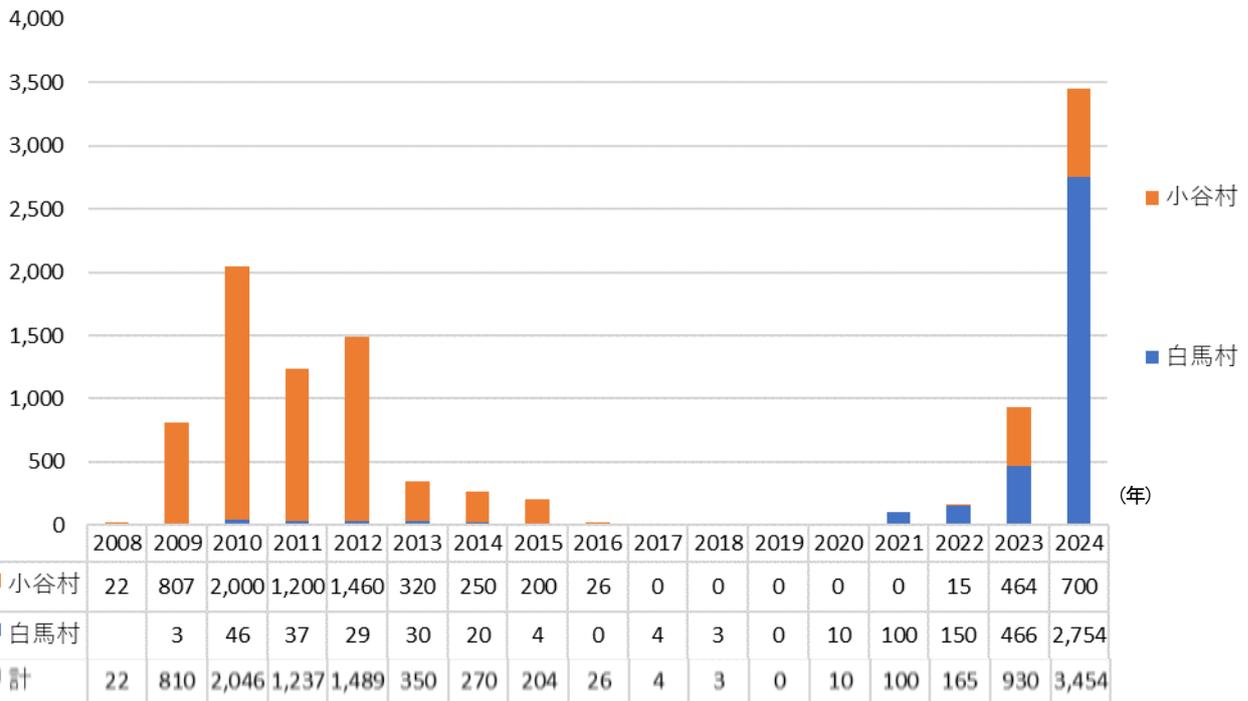
- ・大北地域におけるナラ枯れ被害は、平成20年度に確認され、平成22年度の約2千m³をピークに減少していたが、令和2年度から再び増加傾向となっている。
- ・令和6年度は、10月末現在の被害量で約3,454本であり、前年同期の約930本と比べ、対前年度比の3.7倍に被害が拡大し、過去最大の被害量となった。

② 長野県におけるナラ枯れ被害状況

- ・長野県の被害量のピークは平成22年の12,800本で、その後減少を続けていたが、令和2年度から再び増加し、令和6年度は約8,654本の被害が報告されている。

【北アルプス地域のナラ枯れ被害量の推移】

(単位:本)



③ 気象条件

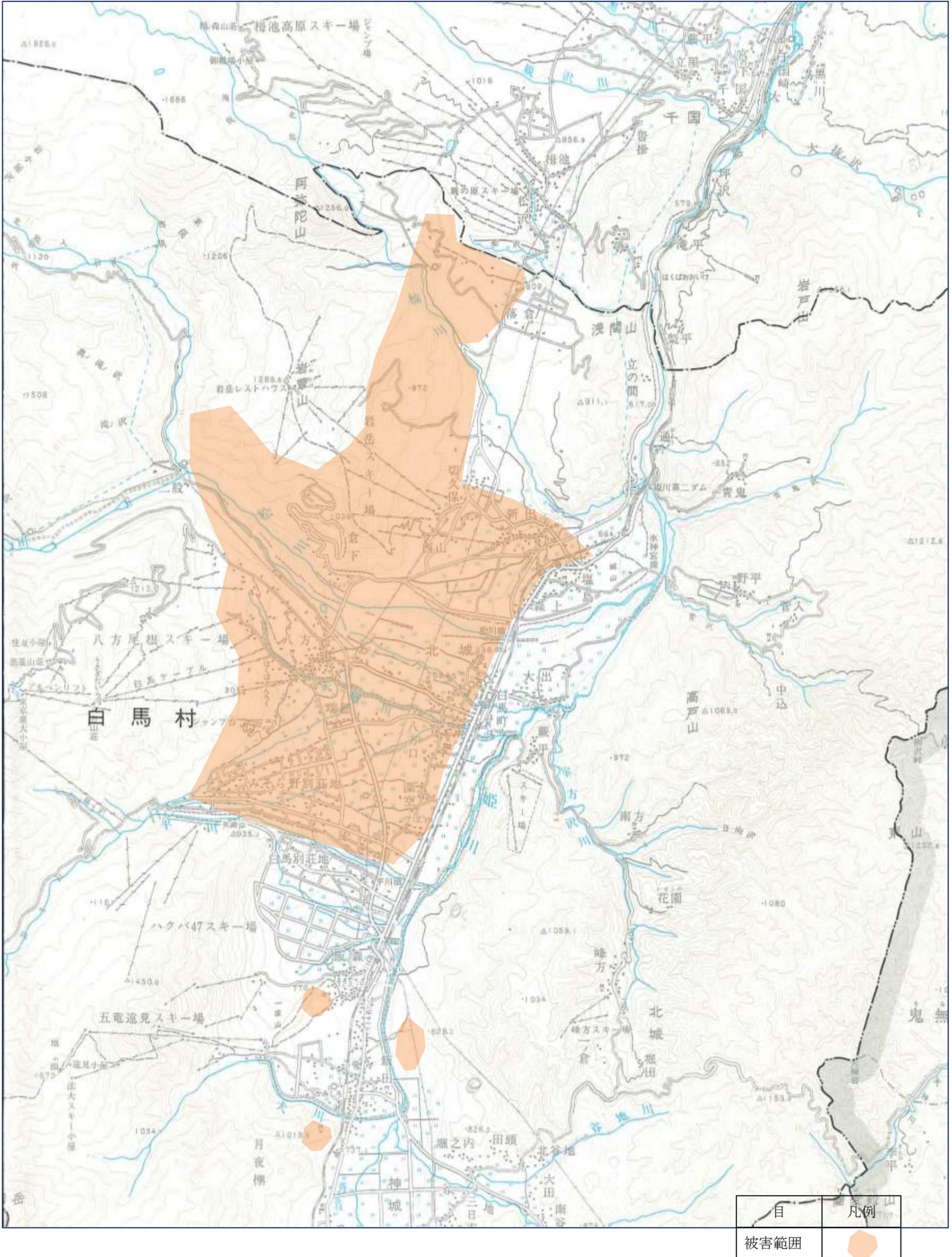
- ・令和6年の夏季の月平均気温は、6月が全県で平年よりやや高く、8月は全県で平年よりかなり高い状況であった。
- ・令和6年度は、地域によってカシノナガキクイムシの初発日が早かった可能性がある。
- ・被害量増加の要因として、今まで被害の少なかった箇所への被害拡大が考えられる。

表1 令和6年度の月平均気温（気象庁HP、平年差は1991-2020データに基づく平年値との差）

区分		長野	松本	諏訪	軽井沢	飯田
6月 平均 気温	今年(°C)	21.4	21.0	20.0	16.8	20.9
	平年差	+1.0	+0.8	+0.7	+0.8	+0.3
	階級	高い	高い	高い	高い	高い
8月 平均 気温	今年(°C)	27.0	26.4	25.5	22.5	26.9
	平年差	+1.6	+1.3	+1.4	+1.7	+1.5
	階級	高い	高い	高い	高い	高い

※平年並の範囲（東日本6～8月）-0.2～+0.2

カシノナガキクイムシ被害範囲位置図（白馬村）R7



カシノナガキクイムシ被害位置図（白馬村） H21

